



経営する柿園地の様子

経営概要

西澤 憲彦

◆代表者・所在地

西澤 憲彦 和歌山県伊都郡かつらぎ町

◆設立

令和5年度法人化予定

◆経営規模

柿 1.9ha キウイフルーツ 28ha 栗 25a

◆従業員数

パート・アルバイト 5名

◆事業内容

農産物(柿、キウイフルーツ、栗)の生産(加工品の製造・販売を検討中)に取り組む。

1 現状と相談までの経緯

専業農家の後継者として平成29年に就農し、当初から**規模拡大と法人化を視野に入れていた**。具体化について悩んでいたところ、日常的に付き合いのある**普及指導員から紹介を受け、農業経営・就農サポートセンターに相談した**。

2 相談内容

普及指導員が詳細なヒアリングを行ったところ、規模の拡大や従業員の雇用、法人化、六次産業化等の様々な取組を考えていた。その中でも、まずは**法人化にあたっての経費や手順**について知りたい。

3 支援内容

■支援チームによる支援方針の検討

法人化に向けた支援を行うに当たり、はじめに**経営専属スタッフによる経営診断を実施**したところ、大きな問題は認められなかった。このため、経営戦略会議において法人設立に向けた**支援チームを編成し、支援方針等を作成**するとともに、**重点指導農業者として支援**を行うこととした。

■専門家派遣を通じた助言の実施

普及指導員が中心となって各種調整を行い、**専門家(税理士、社会保険労務士)を派遣し、法人化の手順と経費、労務管理や雇用に向けた求人の紹介等の指導・支援**を行った。

・法人化の手続きなどを助言(税理士)

事務的な流れ、規模拡大に向けた通年雇用の検討と、そのための社会保険等の整備及び法人化に使える補助金について説明を行った。

・社会保険制度の導入(社会保険労務士)

労災保険加入、社会保険適用関係、販売所の計画及び事業場の考え方について説明を行った。

支援チーム構成員：

税理士、社会保険労務士、普及指導員



専門家による助言・指導の様子

■ 支援を受けてからの対応

社会保険労務士の助言を受け、**労災保険に加入**するなど、労働環境の整備に着手した。

また、**令和5年度中に法人化できるよう準備を進めて**おり、必要書類を作成している。

■ 今後の取組

令和5年度中に法人を設立し、その後、事業規模の拡大に向けた**従業員の雇用、六次産業化の実施**等に取り組みたい。

今後自身の周りに法人化したい人がいれば、自分の経験を踏まえてアドバイスしていきたい。



経営する園地の様子（柿）

喜びの声

従業員の雇用や社会保険制度については知識がなかったので、大変勉強になりました。

専門家の指導は、法人化に向けての力になりました。従業員の雇用に関して、不足することがないか、引き続き指導を受けたいです。

専属スタッフ所感

就農当初より検討されていた法人化に向けて、専門家の指導を受けながら、ご自身でも様々に調べて、進められていました。

また、将来、地域で法人化をしたい人が現れた時に助言ができるように、その準備をあえて自分でされており、地域の将来を考えて営農されていると感じられました。

普及指導員を中心としたヒアリングを行うとともに、関係機関と情報共有を図りながら、引き続き、支援をしていきたいです。

<支援機関> わかやま農業経営・就農サポートセンター

組織概要

■ 相談窓口

【経営・就農相談】

住 所：和歌山県和歌山市小松原通1-1
和歌山県庁 東別館4階 経営支援課

電話番号：073-441-2932

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）

住 所：9:00～12:00 13:00～17:00

【経営相談】

住 所：和歌山県和歌山市茶屋ノ丁2-1

和歌山県自治会館6階 和歌山県農業会議

電話番号：073-432-6114

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）

住 所：9:00～12:00 13:00～17:00



相談の様子

農業者の経営発展や経営継承等を支援する農業経営相談所と、新規就農相談センターの機能を併せ持つ総合相談窓口です。関係機関・団体と連携を図りながら、様々な支援を行っています。